

佳作  
(高校部門)

徳島県立阿波高等学校

3年

坂東 ばんどう

未来 みらい

今日は、アイスの気分やなあ

姉

姉がこの言葉を言う時は決まって私が悩んでいる時だ。一人で部屋にこもっていると、姉は部屋の前で私に聞こえるように「今日は、アイスの気分やなあ。」と言う。その声が聞こえると私は部屋から飛び出し、姉の車に乗り二人でお気に入りのアイスを買っていく。

コンビニに着くまでの十五分の間、姉は静かに私の話を聞いてくれる。いつも自由でマイペースでうるさい姉だが、私の気持ちに一番に気づいて、助けてくれる。姉がくれる十五分のオフタイムは私にとって大切なリカバリーの時間なのだ。

そして帰り道。気づけば私のもやもやした気持ちは、いつもアイスのように溶けさっている。